



みさと 議会だより



議会トップページへ

2ページ
すすむ議会活性化
令和5年は`躍進、`

14ページ
美郷中生×町議会
とものつくる未来



美郷中生と対話

シン・美郷町議会 活性化プロジェクト 発動



発動



議会基本条例は、議会の組織および運営の方針と基本的なルールを定めた条例です。議会と議員のあり方を示し、活動の指針とするものです。県内でも半数以上の自治体が制定しています。

美郷町議会は令和4年9月に「議会基本条例素案検討部会」を設置し、条例の素案作りを始めました。部会には議員7人（議会運営総務産業教育民生委員会の正副委員長、議会広報委員会の委員長）が所属しており、部長を深澤均議員、副部長を高橋邦武議員が務めています。

1 議会基本条例を作ります

令和5年、美郷町議会は改革への取り組みを大きく進めます。

2 定数と報酬を再考します

議員定数は、平成29年10月に現在の16人となりました。議員報酬は、平成19年4月より変更していません（費用弁償の廃止を除く）。その後の社会情勢の変化を踏まえ、再考すべき時期が来ていると認識しています。

令和4年9月に設置した「議会活性化検討会」では、定数と報酬などを全議員で協議しています。（関連記事13頁）

3 議会運営を改善します

議会運営委員会は令和4年、山形県遊佐町・庄内町や羽後町など、議会改革に取り組む先進自治体の視察を行いました。そこで得られた知見を、議会運営に活かしています。

令和4年9月定例会の決算審査では、質疑の事前通告制を導入しました。町当局からは、スムーズで的確な答弁が得られました。

デジタル化への対応、住民の声を集める広聴活動の方法についても、これから検討を進めていきます。



年頭のあいさつ

美郷町議会議長 森 元 淑 雄

明けましておめでとうございます。

「光陰矢の如し」とよく申しますが、正にあつという年の二年でありました。その忙しい中でも過日、当議会では新たに議会活性化検討会を立ち上げたほか、その下部組織として議会の基本条例素案検討部会を設置し、条例制定に向けて取り組んでいるところであります。

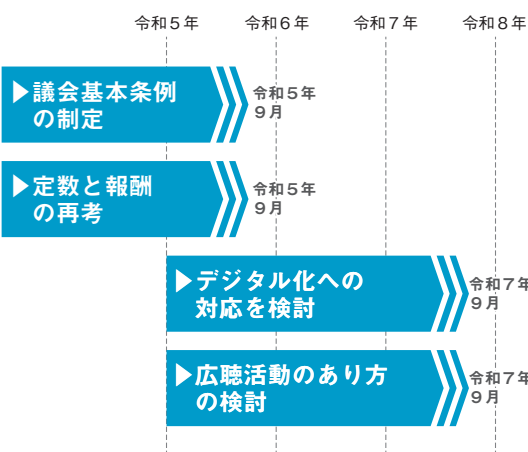
また、議員の「定数及び報酬」についても検討を重ねており、昨年11月には講師の方をお招きして、研修会を開催しました。若手議員ならびに女性議員をどのようにしたら増やすことができるかという懸案事項について、様々な角度より検討していかなければならないと考えているところであります。

改革に「これで良し」ということはありませんが、「チーム議会」として政策力を向上させると共に議員活動の見える化を図り、真に町民の皆様方の立場になって考え、その使命を忠実に果たすべく努力を重ねていく所存であります。

何卒、本年も宜しくお願い申し上げます。



議会活性化スケジュール





12月定例会

12月5日から10日間の会期で、12月定例会を開きました。
補正予算7件、条例23件、人事4件、指定管理者5件、その他1件を審議し、原案のとおり可決・承認しました。
陳情は7件中2件を採択し、関係機関に意見書を提出しました。

一般質問 5名

深澤 均 議員 泉 美和子 議員 高橋 邦武 議員
鈴木 正洋 議員 長谷川 幸子 議員

※ 会議録はホームページでご覧いただけます。

令和4年度予算補正

会計名	補正総額	補正後累計
一般会計	7031万円	129億2418万円
国民健康保険特別会計	137万円	22億9404万円
後期高齢者医療特別会計	△25万円	2億2794万円
水道事業会計	収益的支出 75万円	3億8742万円

一般会計補正予算（主な事業）

公共施設等エネルギー価格高騰対策

1360万円

町が管理する公共施設等における電気料の高騰に伴う増額。

指定管理施設エネルギー価格高騰対策

2492万円

指定管理施設において電気料等の高騰分に係る委託料・補助金を増額する。

障害児施設給付

1368万円

心身に障害等がある児童に対し、通所・訪問による療育・訓練の支援給付費を追加する。

出産・子育て応援

850万円

妊娠届出時、5万円を支給。
出産後、出生児1人あたり5万円を支給。

地下水対策

500万円

家庭用飲水用井戸等、飲用水の供給設備設置に要する経費を一部助成する。（10件）

起業支援

400万円

起業を目的とした店舗の新築・増改築に要する経費を一部助成する。（2件）

空き店舗等対策

34万円

空き店舗等を活用して出店する事業者に対する賃借料を一部助成する。（2件）

危険建物解体工事

104万円

町が寄附受納した旧志ら梅酒造店財産のうち、周辺への被害回避のため当面必要な建物を解体する。

修学旅行等のキャンセル費補助

5万円

児童生徒が新型コロナウイルスに感染・濃厚接触者となり、修学旅行等に不参加となった際、保護者が負担するキャンセル費を助成する。

鈴木（正）議員 風邪やけなどで欠席した場合も対象にすべきでないか。

教育推進課長 病気やけがは旅行保険で対応できるので、それ以外を救うためである。

条例（主な改正）

美郷町職員の定年等に関する条例の一部改正

美郷町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

地方公務員法の一部を改正する法律の施行による職員の定年引上げに伴い、所要の規定を改正する。

泉議員 定年を段階的に引き上げて65歳とした場合、新規採用に影響はないか。

また、職員の給与は異動前の7割水準となるが、職員の働く意欲に支障はないか。

総務課長 職員定員適正化計画に基づき、計画的に職員を採用する方針である。

管理監督職以外の職に異動させるため、減額されるのは当然と考えている。

討論

泉議員 賃金は職務に応じて支払われるものであり、年齢を理由とする大幅な減額は認められないことから、原案に反対する。

（採決結果は12ページ）

人事

次の方の任命・選任に同意しました。

【教育委員会委員】

■木村 百合子氏（新任）橋本

【固定資産評価審査委員会委員】

■檜 森 吉 裕氏（再任）東高方町

■伊 藤 光 司氏（再任）天神堂

■熊 谷 弘 幸氏（新任）土崎北部

陳情

採択 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善のため国に意見書提出を求める陳情

教育民生常任委員長（泉議員）

委員からは「昨年も同じ内容の陳情を採択しており、否定する理由はない」との意見があった。採決したところ、全会一致で「採択すべき」となった。

※意見書を提出

採択 介護保険制度の改善を求める陳情書

教育民生常任委員長（泉議員）

委員からは「利用料の負担軽減と、介護従事者の処遇改善は必要である」との意見があった。採決したところ、全会一致で「採択すべき」となった。

※意見書を提出

趣旨採択

医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げのため国に意見書提出を求める陳情

教育民生常任委員長（泉議員）

委員からは「職種による賃金格差があり、すべての労働者の大幅賃上げは、現実的に難しい」との意見があった。採決したところ、「採択」1人、「趣旨採択」5人となり、「趣旨採択すべき」とした。

不採択

「消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書」を政府に送付することを求める陳情書

総務産業常任委員長（村田議員）

委員からは「税の公平性の観点から、インボイス制度は適切である」「制度の導入は進めるべきだが、まだ浸透が図られていない」などの



議員 均 深澤

議員 「教職員にゆとりがなければ子どもたちへの質の高い教育は望めない」という内容のメッセージを目にした。昼休みもなく働く状況や長時間労働が指摘され、その結果、教員不足や教員志願者が過去最低の状況であるとの報道もあった。

町内の小中学校教職員の働き方の現状と町の対応は。

意見があった。採決したところ、「採択」2人、「趣旨採択」1人、「不採択」4人となり、「不採択すべき」とした。

委員長報告への反対討論（泉議員）

コロナ禍や物価高騰により、事業者の経営が厳しさを増す中で、実施すべきではない。中小企業団体なども見直しを表明し、懸念の声を上げている。

（採決結果は12ページ）

不採択

再生可能エネルギーを使った地方の人口減少に歯止めをかける仕組み作りを求める陳情

総務産業常任委員長（村田議員）

委員からは「技術的な部分に入り込みすぎており、現実味がない」「県内への経済効果を最大化するのは、理解できる」などの意見があった。採決したところ、「趣旨採択」3人、「不採択」4人となり、「不採択すべき」とした。

不採択

米余りを解消し、食料自給率を高めるために水稲収穫量調査の基準見直しを求める陳情

総務産業常任委員長（村田議員）

委員からは「収穫量調査は各々目的が違うな

教職員のゆとりの状況は

教育長

改善進むも十分とは言えない

教育長 町教育委員会では、平成31年1月に「美郷町小中学校教職員多忙化防止改善計画」を策定し、さまざまな取り組みを進めている。

その結果、文部科学省が示す時間外勤務月45時間以内の達成率は、直近の10月の小中学校の比較で平成30年の33%から令和4年には50・5%となり、改善につながっているといえる。

しかし、十分な達成率とは言えない状況であり、町独自の取り組みにも限界があるので、国や県に教職員の増員や業務量の軽減を図る施策の実施を要望してきている。

スマホの活用推進を

町長 講習会の活用を

議員 携帯電話は、さまざまな機能を加えたスマートフォンへと進化している。

しかし、使いこなせない人が多く、気軽に使い方を教えてくれる人や店の設置を期待する。

町長 町では、県主催のスマートフォン操作体験会を令和4年度に4回開催し、町の生涯学習講座においても「スマートフォン・SNS講座」を開設している。それぞれ多数の方が受講している。

また、主要携帯電話会社においても、無償の講習会を開催しており、こうした機会を活用していただきたい。



スマートフォン・SNS講座

スミズミ



■村田議員

一般会計補正予算で増額した、生活バス路線等維持費補助金296万円の理由と、路線別の合計補助金額は。

■企画財政課長

新型コロナウイルスの影響により利用者が減少し、燃料費の高騰により運行費が増加したことで、事業者の損失額が増大した。

- ・横手大曲線 916万2千円
- ・角館六郷線 618万円
- ・千屋線 436万4千円

委員長報告への反対討論（泉議員）

米余りの状況は、農家の生産意欲を削いでいる。実態を反映した統計値にすることは、農家にとって重要である。

（採決結果は12ページ）



いずみ みわこ 議員

議員 厚生労働省が実施した「自治体における難聴高齢者の社会参加等に向けた適切な補聴器利用とその効果に関する研究」の結果報告では、今後自治体が取り組むこととして、難聴を早期発見する仕組みの構築などの5項目を挙げている。

町としてもこうした取り組みが必要ではないか。

町長 研究結果は直ちに施策に反映させることを目的としたものでなく、厚生労働省で検討中の分野である。

国の方針等の決定を踏まえ、適切に対応していくよう努める。

高齢者に聞こえの支援を

町長 国の動向を注視していく

◆聴力検査の導入

議員 町の健診に聴力検査を入れるべきではないか。

町長 町の健診は、生活習慣病の予防と早期発見を目的としており、国の基準には「聴力検査」は含まれていない。

町では、これまで国の基準を踏まえて実施してきており、基準にない項目を追加することは、検査機器の準備や検査体制の検討等もあり、現時点では聴力検査を健診項目に含めることは考えていない。

◆補聴器購入費用の助成

議員 難聴高齢者に補聴器購入費用を助成すべきではないか。

町長 身体障害者手帳をお持ちの方であれば、購入、修理に掛かる費用の一部を国、県、町で助成している。一般的に普及している補聴器の購入に対し、町が独自に助成制度を創設することは、現在のところ考えていない。

今後の国の動向については、引き続き注視していきたい。

胃がん検診に内視鏡検査の導入を

町長 実施する方向で取り組む

議員 厚生労働省の健診項目に胃がんの内視鏡検査が追加され、すでに県内5市で実施されている。町としても実施すべきではないか。



胃の内視鏡検査（イメージ）

町長 実施の意義はあるものと認識している。関係機関との調整等を経て、令和6年度以降できるだけ早期に実施する方向で取り組む。

高齢の交通弱者に交通助成券を

町長 令和5年度より実施



たか はし くに 議員

議員 令和3年3月の一般質問で、高齢の交通弱者への支援策として、一般タクシーも利用可能な交通助成券の交付などを提案した。

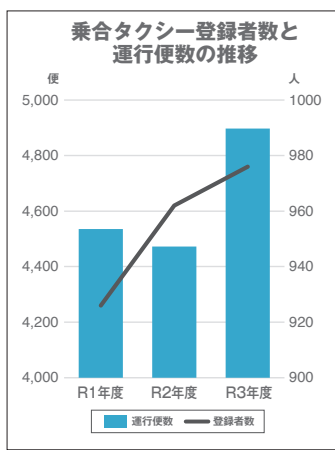
地域福祉計画の中で検討するとしていたが、内容と実施時期は。

町長 「はり・きゅう・マッサージ施術費助成」「温泉施設利用料助成」に、令和5年度から「交通費助成」も含めて共通利用券を作成、交付し、希望する支援分野で利用できるような方式を検討している。

乗合タクシーの利用促進を

町長 ニーズ把握し利用者増加へ

議員 乗合タクシーについて、令



既存公共交通の利用促進を

町長 利用啓発にも努める

議員 路線バスや鉄道などの利用者が減少し、地域公共交通の維持が厳しくなることが予想される。利用者の増加を含め、路線維持の取り組みをどう進めていくのか。

町長 事業者が行っている乗車券・食事・施設利用がセットになったバスパックやスマホ定期の販売、運転免許自主返納者への回数券割引サービスなど、利用促進につながる情報を周知していく。バスパックに、町の施設を対象にできないか提案していきたい。

地域公共交通活性化再生協議会でも、利用促進の施策を検討していく。

◆積極的利用のPR

議員 県では、9月から11月の第4週を「地域公共交通乗って応援Week」として、公共交通の積極的利用を呼びかけている。トッポが乗ってPRするとともに、関連するイベントの実施を検討することとしているが、町の対応は。

町長 広報や美郷フェスタを通じて、利用促進の周知や職員の意識啓発を継続して図る。

また、飯詰駅や後三年駅にポスターやチラシの配置、学友館内に小学生低学年向けの公共交通に関する絵本の展示コーナーの設置の検討など、啓発に努める。



鈴木 正洋 議員

議員 令和4年の夏、六郷市街地で道路冠水が頻発した。西高方町の市場通り、安楽寺の住宅街など問題のある箇所の排水能力を高める工事が必要ではないか。

また、「旧わくわく園跡地」で住宅開発が行われると、氾濫が増えるのではないか。

町長 最近の降雨は局所集中のケースが多く、そのため道路冠水が発生していると認識している。令和5年度に当該周辺の排水状況等の調査を実施し、結果に基づいて、可能な対応策を探っていく。

「旧わくわく園跡地」は、移住・定住対策として宅地活用を予定している。雨水排水等に充分留意し、活用していく。

六郷市街地の内水氾濫への対策を

町長 調査し可能な対策を探る

◆町内市街地の内水氾濫対策

議員 内水氾濫は六郷に限ったことではないと考えるが。

町長 当町はさまざまな河川が町内を縫うように流れ、豪雨時は外水氾濫も危惧される。市街地のみならず、全町にわたる対応、対策が求められる。

まずは人命優先の観点で、避難方向などを記載した新たなハザードマップを令和5年2月ごろに配布し、周知に努める。

また、内水氾濫対策は外水氾濫も含めた一連の対応が必要と考える。引き続き、国、県とともに各種対策の検討に努める。

電線類地中化・無電柱化を

町長 実施する環境にない

議員 「道の駅美郷」のフリースペース・カフェでは、美しい田園風景を眺められるが、残念なことに電線と電柱が視界に入ってくる。また、六郷中央通り線では、行きかう自動車と電柱の間を子どもたちが通学している。

安全性と景観の向上の観点から、補助金制度を活用して、電線類地中化・無電柱化に取り組んではどうか。

町長 活用する補助金制度としては、国の道路メンテナンス事業となる。現在、橋の改修で当該事業を活用している。

を含む行政課題に対応しながら、バランス感をもって予算配分している。一部路線の無電柱化は、現在のところ実施する環境にはないものと認識し、検討しない。

中央通り線の住宅連たん地域の通学路安全対策としては、グリーンベルトを整備している。

「道の駅美郷」西側の電柱は、設置者に移設を打診していく。



六郷中央通り線



長谷川 幸子 議員

議員 子宮頸がんの発症を予防するHPVワクチンは、令和4年4月より9年ぶりに定期接種対象者への積極的勧奨が再開された。差し控えの期間に定期接種年齢を過ぎてしまった女性に対しても、再度接種機会を設けるキャッチアップ制度が開始された。

本町の対応と現状を聞く。

町長 町では、令和4年5月に定期接種対象者285人とキャッチアップ対象者440人に、予防接種通知とパンフレット等を配布した。また、「広報美郷」令和4年2・3月号に記事を掲載し、町ホームページでも周知を行っている。

令和3年度に比べ接種率は高くなっているが、今後も一層の周知に努める。

HPVワクチン接種の現状は

町長 接種率が向上、一層の周知に努める

◆9価HPVワクチンの対応

議員 現在、定期接種やキャッチアップ制度で利用できるHPVワクチンは2価と4価となっているが、より高い感染予防効果のある9価HPVワクチンについて、厚生労働省が令和5年4月から定期接種とする方針であると報道があった。

効果や安全性、町の対応は。

町長 9価HPVワクチンの有効性と安全性に問題はないものと認識している。今後、法改正等が予定されていることから、国の動向を注視しながら対応する。

対象者には、適切な時期に町の広報やホームページを通じた周知、個別通知を行う。

◆男性に向けた周知

議員 HPVが関係する男性の病気の予防のため、令和2年12月に厚生労働省が4価HPVワクチンを9歳以上の男性にも認可し、接種が可能になった。

社会全体での集団免疫を獲得するために接種の意義が高く、定期接種年齢の男性にもワクチンの効果や安全性の周知を図ってはどうか。

町長 現在、国において、4価HPVワクチンの男性に対する定期予防接種の位置付けの検討がなされているものと推測している。

男性への4価HPVワクチンの効果や安全性の周知については、国の動向を注視しながら、町として適切な判断と対応をしていく。



厚生労働省が作成した
キャッチアップ接種のパンフレット

ウクライナ国民へ支援金

美郷町議会は、ロシアからの軍事侵攻が続くウクライナへ支援金を送りました。

令和4年3月定例会で「ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議」を採択して以来の行動です。同じ北国に住む冬の厳しさを知る者として、ウクライナ国民の生活の一助になればと思い、議員16人全員が協力しました。一刻も早い戦争の終結を願っています。

支援金 **149,596円**

送金先 駐日ウクライナ大使館 送金日 令和4年12月16日

議員の適正な定数と報酬は？

令和4年11月30日、議員の定数と報酬について考えるための研修会を開きました。

講師の廣瀬和彦氏（栃地方議会総合研究所）から、それぞれの考え方を学びました。定数と報酬に理論的な関係性はないものの、同時に見直しを行う議会が多いそうです。

今後、さまざまな角度から検討を重ね、令和5年9月までに方向性をまとめたいと考えています。



議員報酬の考え方

町政貢献度算定方式	議員報酬の基本額に、町政への貢献度を加算する。貢献度を評価する方法が難しい。
執行部職員給与基準方式	議員は選挙で選ばれた住民の代表であることから、自治体の一般職最高級である職員給与を基準に議員報酬を考える。
国会議員歳費基準方式	国会議員の歳費を元に、町議会議員の職務執行日数に見合った金額を計算で求める。
日当制方式	福島県矢祭町だけが採用。議会活動を行った日は3万円の日当が支給される。月額制に戻す議論もある。
町長給与額基準方式	町長の給与とから町議会議員の報酬を考える。一般的に、町議会議員の報酬は町長の給与の3割程度であることが多い。
比較方式	人口規模・財政規模の類似した自治体の議員報酬と比較して考える。

議員定数の考え方

常任委員会数方式	常任委員会の設置数と構成人数から考える。十分な討議を行い、住民の多種多様な意見を反映させるためには、1委員会を6人前後とすることが望ましい。
人口比例方式	議員1人あたり何人の住民を代表しているかと考える。
学校区方式・行政区方式	コミュニティ単位に代表となる議員の人数を定め、それを合わせて議員総数とする。選挙区を設置することもある。
比較方式	人口規模・財政規模の類似した自治体の議員定数と比較して考える。

議員定数と議員報酬を合わせて考える

議会費固定化方式	議会費の範囲の中で、議員の総数と報酬を決める。議会費の総額を「自治体の予算総額の1%程度」として考えることが多い。
----------	-----------------------------------------------------------

※（栃地方議会総合研究所・廣瀬和彦氏の資料を基に作成）

臨時会

第8回臨時会（令和4年10月17日）

議案1件を審議し、全員賛成で原案を可決しました。

議案第49号 令和4年度一般会計補正予算第6号

住民税非課税世帯などに対する国の価格高騰緊急支援給付金事業費や、危険空き家等解体補助金の追加などで、1億743万8千円を追加し、予算総額を127億3856万7千円としました。

第9回臨時会（令和4年11月21日）

議案1件を審議し、全員賛成で原案を可決しました。

議案第50号 令和4年度一般会計補正予算第7号

一般会計に1億1530万1千円を追加し、予算総額を128億5386万8千円としました。主な内容は、肥料・飼料価格高騰対策支援事業補助金、物価高騰対策として地域振興券給付事業費、旧中央行政センター貸出に伴う高圧ケーブル更新事業費など。

●旧中央行政センターの貸し出し

- 高橋（邦）議員 貸付料の取り扱いは。
- 総務課長 建物は無償貸し付け、土地は年間50円/㎡とした。

- 高橋（邦）議員 貸し出す団体が「まちなか活性化に資する」という利用条件に合致したと認められた理由は。

- 総務課長 団体の事業内容は、アーティストが一定期間この施設に滞在し、さまざまな制作活動を行うものだ。町を訪れるアーティストの交流を通じて、地域技術の継承と発展につなげる計画もある。審査委員会で「さまざまな交流が生まれ十分に地域の活性化に資する」との意見が多く、決定した。

●肥料価格高騰対策支援事業

- 熊谷（隆）議員 支援内容を分かりやすく周知してほしい。
- 農政課長 12月広報に掲載し、対象者に改めて通知する。

採決結果

採決で賛否が分かれた議案等を掲載しています。議長は採決には加わりません。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	議決結果
議員名	熊谷隆一	村田薫	鈴木正洋	藤原政春	高山茂雄	高橋邦武	深澤均	伊藤福章	高橋正和	泉美和子	深沢義一	熊谷良夫	澁谷俊二	長谷川幸子	鈴木良勝	森元淑雄	
◎令和4年第10回議会定例会（12/5～12/14）																	
議案第57号 美郷町一般職の職員に関する条例の一部改正について																	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
陳情第14号 「消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書」を政府に送付することを求める陳情書																	
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	●	●	●	不採択
陳情第16号 米余りを解消し、食料自給率を高めるために水稲収穫量調査の基準見直しを求める陳情																	
	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	不採択

○：賛成 ●：反対

— ともにつくる未来の美郷 —

美郷中生と町議会議員が パネルディスカッション



令和4年12月22日、美郷中学校3年生の学年発表会に、

美郷町議会議員も参加しました。

生徒たちのグループが、それぞれの学習テーマについて発表した後、グループの代表生徒6人と議員6人が、パネルディスカッションを行いました。

テーマは「美郷町の未来（あす）をつくるために、私たちができること」。貴重なご意見、しっかりと拝聴いたしました。

SNSを使った情報発信

【生徒たち】施設の営業時間や場所、イベントの日時など、必要な情報は十分発信されていますが、ミズモの動画など、楽しいユーモアのある情報を発信すれば、もっと

と興味を持ってもらえると思います。

インスタグラムやティックトックを使って、観光施設などで働いている人も、身近な情報を発信すればよいと思います。

【広報委員長】SNSを日常的に使われているようですね。Instagramやティックトック、動画を使った情報発信に、もう少し力を入れてもらえるよう、町の方にも伝えます。皆さんも美郷町の良いところを見つけたら、ぜひ自分で投稿してください。

【生徒たち】他県や外国の人からの意見も取り入れた方が、SNSでは広まりやすいと思います。発信力のあるインフルエンサーとコラボしたらどうでしょう。

町中みんなで防災訓練

【生徒たち】避難訓練を、学校だけではなく、休日などを使って町民の皆さんと一緒にやるのはどうでしょう。交流が増えて、結びつきが強まると思います。

【議会運営委員長】令和4年11月に、役場の近くで総合防災訓練が

行われました。町の将来を担う中学生からも、訓練に参加してもらうことは大事なことで、町の方にも伝えます。

町の住みよさを発信

【生徒たち】観光名所を紹介するだけでなく、美郷町は住みよい町だという情報を集めて、発信していきたいと思います。

【総務産業副委員長】移住でもない観光客でもない「関係人口」を増やそうと、町の方でも取り組んでいます。町民が心温かで交流が深まる、ということが大事です。

【教育民生委員長】定住者を増やすため、美郷町も色々な取り組みを行っています。移住して新しく住宅を建てた方に建築費用を補助するとか、子育て支援のために18歳までの医療費を無料にする制度、出産した時にはお祝い金を支給する制度もあります。

それと、若い人たちが定住するには、まずは働く場所がなければなりません。雇用への取り組みも大事だと思っています。

【総務産業副委員長】さまざまな言語のポスターを作った方がいいという意見が、学習発表の中でありましたね。県は英語や中国語などのパンフレットを作っています。美郷町は、まだ十分には取り組めていません。

大勢の観光客が来ていました。美郷町も、湧太郎のある通りなどには、新しいカフェもできています。街並みを活用して、発展していけたらいいと思います。

観光客でにぎわった町に

【生徒たち】有名な地域には、独特なシンボルがあると思います。先日、大阪へ行ったら「太陽の塔」などを見てきました。美郷町も何か印象に残るものがあれば、観光客も増え、住みやすさも伝わるのではないかと思います。

【副議長】町も観光には力を入れています。現状はまだ「通過型」となっています。令和2年8月、「町の南の玄関口」となる「道の駅美郷」の隣に「モンベル秋田美郷店」がオープンしました。道の駅の売上にも伸びがあったと聞いています。道の駅にきたお客さんを六郷の町なかへどう誘導するか、町の方でも取り組んでいます。

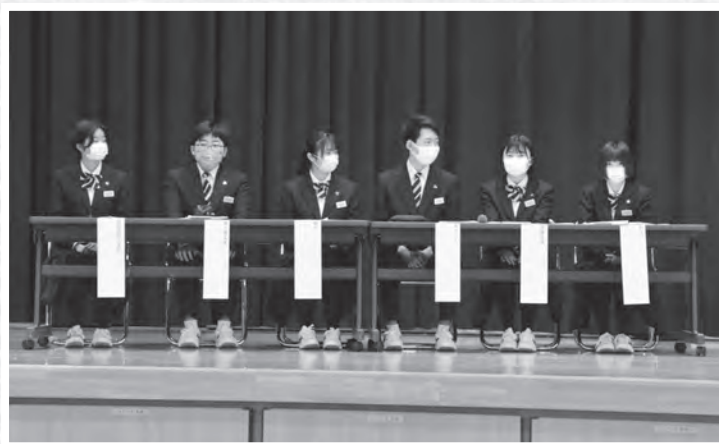


会場・生徒からの感想

- ・美郷町はとても良い町だと思います。SNSを使い、だれでも見やすい動画を撮って、発信していきたいと思いました。
- ・中学生と大人が対等に話し合えば、町は良くなると思います。これからは、自分たちの意見も取り入れてほしいと思ったし、自分たちも町に積極的に関わっていききたいと思いました。
- ・幅広い世代に美郷町の良さを伝えるには、身近にあるテレビを活用することも大事だと思います。短いCMを作ったことが効果的だと思いました。
- ・私たちにできることは沢山あると感じました。

ディスカッションを終えて

【議長】皆さんの素晴らしいご意見、ありがとうございました。皆さんは今後、高校、大学と進学されますが、卒業しても、ぜひ美郷町に残ってほしいと願っています。美郷町で仕事をしてほしいし、やりたい仕事が無かったら、自分で作ってほしいと思います。町と議会は、皆さんのことを応援します。



2市1町議会議員交流会

11月1日

米政策とスマート農業について学ぶ

「大仙市・仙北市・美郷町議会議員交流会」が、3年ぶりに本町公民館で開催されました。

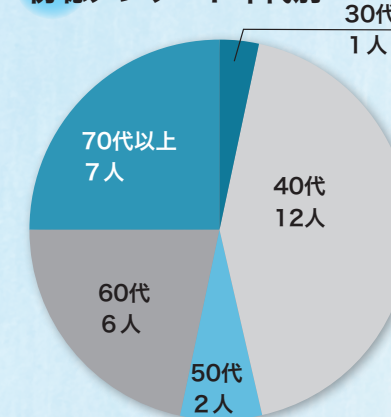
秋田県庁農林水産部の川本朋彦氏と小笠原伸也氏より、「米政策・スマート農業技術について」ご講演をいただきました。川本氏は美郷町の出身で、サキホコレの開発を担当した後、現在はスマート農業を推進する職務に就いています。小笠原氏は、水田総合利用課の主査を務めています。農業の新たな時代を感じさせる、大変に参考となる講演でした。



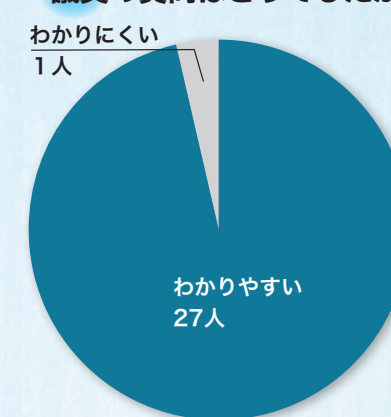
議会傍聴アンケートの結果をお知らせします

令和4年4月から令和4年12月までの議会傍聴者は35人、アンケート回答者は28人でした。

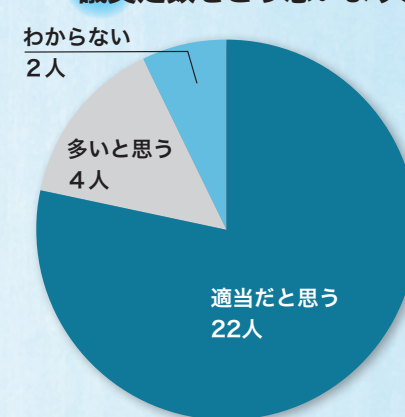
傍聴アンケート年代別



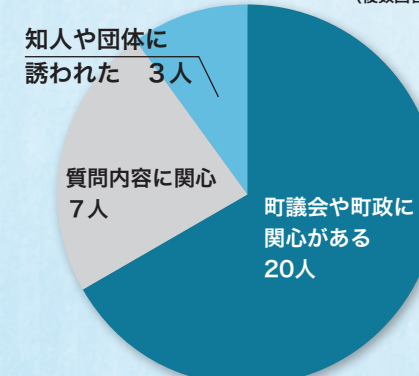
議員の質問はどうでしたか？



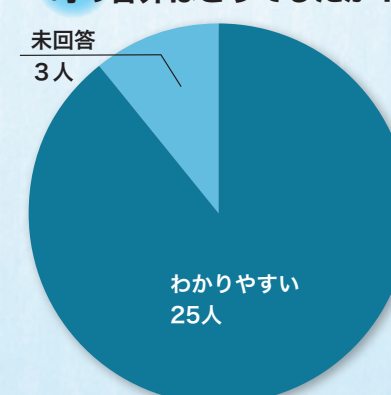
議員定数をどう思いますか？



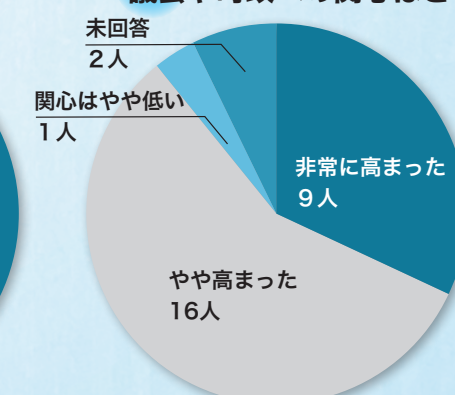
傍聴の目的・理由は何ですか？ (複数回答あり)



町の答弁はどうでしたか？



議会や町政への関心はどうか？



傍聴された方の声

質問する内容がよくまとめられています。答弁もわかりやすい。

女性目線での住み良い町づくりには、もっと多くの女性議員が必要だと感じました。

一般質問が前回と同じ議員で残念です。もう3～4人の発言があればと思います。

議員の皆さんは町のことを考えられて立候補されたと思います。公約したことを実現できるようにがんばってほしい。

議会の動き

10月17日	第8回議会臨時会
10月18日	議会基本条例素案検討部会
11月1日	議会活性化検討会
11月1日	議会運営委員会
11月1日	政策等意見交換会
11月1日	議会意見交換会
11月21日	大仙市・仙北市・美郷町議会議員交流会
11月21日	第9回議会臨時会
11月29日	政策等意見交換会
11月29日	広報常任委員会
11月30日	議会運営委員会
11月30日	議会活性化研修会
12月2日	議会連絡会
12月2日	広報常任委員会
12月5日	第10回議会定例会（14日）
12月7日	議会基本条例素案検討部会
12月8日	教育民生常任委員会
12月9日	総務産業常任委員会
12月13日	議会運営委員会
12月14日	議会運営委員会
12月23日	政策等意見交換会
12月23日	議会活性化検討会
12月27日	議会運営委員会
12月27日	広報常任委員会
令和5年1月10日	広報常任委員会
令和5年1月17日	議会基本条例素案検討部会
令和5年1月18日	広報常任委員会

ようこそ
美郷町へ



大田区議会（11月2日）

東京都大田区議会の議員14名が親善訪問のため、本町を訪れました。東京都大田区とは、友好都市連携と防災協定を締結しています。

本町からは、町長、議長、副議長、議会運営委員長、総務産業常任委員長、教育民生常任委員長、町職員2名が出席しました。

交流会では、大田区、美郷町の近況報告や議会活動について意見交換が行われました。その後、六郷湧水群を視察しました。



基山町議会（11月8日）

佐賀県基山町議会厚生産業常任委員会の委員6名が研修のため、本町を訪れました。

研修内容は、「観光事業と町内特産品のブランド化推進について」です。

本町からは、副議長、総務産業常任委員長、町職員6名が出席しました。



三春町議会（11月17日）

福島県三春町議会の議員13名が研修のため、本町を訪れました。

研修内容は、「大型商業店舗（モンベルストア）誘致に関する取り組みについて」です。

本町からは、議長、町職員5名が出席しました。





議会に関する

アンケート

問1 議会に関心がありますか？

- ① 関心がある
② どちらかといえば関心がある
③ どちらかといえば関心がない
④ 関心がない

問2 議会を傍聴したことがありますか？

- ① ある
② ない

問3 「みさと議会だより」をどの程度お読みになりますか？

- ① 大体全部読む
② 関心のあるものだけ読む
③ ほとんど読まない
④ その他

問4 「みさと議会だより」の誌面の見やすさはいかがですか？

- ① 見やすい・読みやすい
② 見づらい・読みにくい
③ その他

問5 誌面の中で興味がある項目は何ですか？（複数回答可）

- ① 一般質問の内容
② 議案の審議結果
③ 請願・陳情の審査結果
④ 各種委員会の活動内容
⑤ シリーズ「ムチューデント美郷中」
「キラリ美郷」
⑥ その他



クイズの答え

問1 美郷町議会議員の定数は〇〇人

問2 今回の表紙は 美郷中〇〇部

アンケート回答

問1 _____

問2 _____

問3 _____ その他 _____

問4 _____ その他 _____

問5 _____

その他 _____

感想等自由記載欄

応募方法

必要事項（氏名、住所、年齢、クイズの答え、アンケートの答え）を記入のうえ、はがき又はメールにてご応募ください。正解者の中から、抽選で5人の方に粗品を差し上げます。
また、議会へのご意見をお待ちしております。

応募の注意

☆応募専用はがき：63円切手を貼ってご応募ください。
☆官製はがき：アンケートの答えも忘れずにご記入ください。
☆応募はお一人様1通とさせていただきます。

あて先

〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10
美郷町議会事務局 議会だより係

議会事務局メールアドレス

gikai@town.misato.akita.jp

締切日

令和5年2月28日（当日消印有効）

●次回定例会は、3月上旬を予定しています。
日程は2月15日発行の「議会だよりお知らせ版」をご覧ください。



私たち美郷中学校美術部は、才能豊かなメンバーと共に、個性を生かした作品制作に取り組んできました。主な活動は、各種コンクールや文化祭の絵を描くことです。これまで、3年生の活躍のおかげで、様々な行事で大成功をおさめることができました。3年生が引退し、新体制になって大変なこともありますが、3年生が作り上げてきた活気ある部活を更に盛り上げることができるよう、部員全員で協力して引き継いでいきたいと思っています。

部長 西谷 心日夏（2年）

今号の撮影者



今回の撮影は、私たち3年生にとって、六郷高校写真部としての最後の活動となりました。美術部の皆さんの協力のおかげで、素敵な笑顔を収めることができました。

左：佐藤 駿さん（六郷高校3年写真部）
右：大野 洋斗さん（六郷高校3年写真部）



美術部

個性を生かした作品づくり

クイズ

問1 美郷町議会議員の定数は 〇〇人

問2 今回の表紙は 美郷中 〇〇部

〇の中だけお答えください

みさと議会だより 第73号
正解と当選者

クイズ

【問1】令和3年度決算は〇億9149万円の黒字

▶【正解】5

【問2】今回の表紙は 美郷中〇〇〇〇部

▶【正解】サッカー

クイズ当選者

多数のご応募、議会や議会だよりに対するご意見・ご感想ありがとうございました。抽選の結果、次の方々が当選しました。

山田 渉 様
高橋 猛 様
藤肥 俊子 様

大久保ノブ子 様
藤田 綾子 様

シリーズ

キラリ 美郷

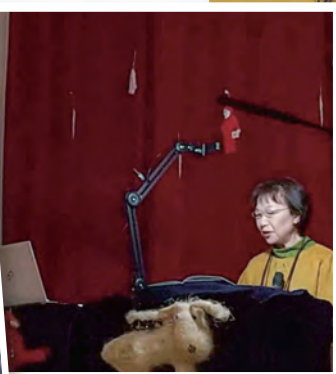
VOL.69

～おはなし
「紙ひこうき」～



受賞歴

- 令和3年 厚生労働大臣感謝状
- 平成19年 「元気なふるさと秋田づくり」表彰
(秋田県仙北地域振興局)



読み聞かせグループ「おはなし
『紙ひこうき』の皆さんです。

県の読み聞かせ事業ボランティア養成学習会に参加した仙南地区の皆さんと、平成16年12月にこの会を立ち上げました。名前の由来は、仙南出身の飛行家・佐藤章氏にちなんで「ひこうき」を入れました。

メンバーは現在15人。何事もはりきって、喜びながら協力しあう、頼もしい仲間たちです。

活動は、地域での「おはなしの会」です。仙南小学校で月6回、すこやか園で月1回、放課後児童

63円切手を
貼って下さい

ふた

郵便はがき

019-1541

美郷町土崎字上野乙170-10
美郷町議会事務局

議会だより係

ふりがな 氏 名		年齢	歳
住 所	〒		
電話番号			

クラブでも行っています。

また、自分たちの力量を高めるため、「読みの学習会」への参加も欠かせません。

これまで「チエロと語りのコンサート」や「口笛と語りのコンサート」などを企画し、開催してきました。子どもたちの喜ぶ姿が、次回への意欲につながっています。

物語は想像力を豊かにし、想像力は生きていく力につながる。想像力の豊かな人になってほしいという思いを込めて、これからも活動していきます。

